

# タパさん 羽ばたく

## ネパール人初 プロ野球選手

野球がほとんど知られていないネパールから来日したイッソー・タパさん(22)が27日、プロ野球関西独立リーグ「大阪ホークスドリム」(大阪府高石市)と選手契約する。同球団の運営は社会人野球スタイルのため給料は支払われないが、同国初のプロ野球選手となるタパさんは「ビッグチャンスだ」と闘志を燃やしている。

【辻加奈子、写真も】

### 独立しとあす契約

ネパール・ポカラ出 リクラスの会」で、13 からの寄付が頼りだ身。フル学院大(堺 歳から野球を始めた。 が、タパさんは夢中に市)の学生らが始めた グラウンドはでこぼこ になった。ボランティア団体「ラ の空き地、用具は日本 昨秋、同会の招きで



練習試合で力投するイッソー・タパさん(奈良県吉野町で20日)

初来日。右投げの投手

として、二つの独立リーグのトライアウトと3球団のテストに挑戦したが、全敗だった。タパさんは帰国後、日本で覚えた走り込みや筋力トレーニングでレベルアップを図った。7月に大学を卒業した後は、同会の支援を受けながら練習と子どもたちの指導を続け

た。

今年10月に再来日。遠投87メートル、50メートル走は6・7秒だったが、練習熱心で夢を追うタパさんを元南海ホークスの門田博光さん(62)が総監督を務めるホークスが練習生として受け入れた。正式契約につながった。バッティングセンターで測った球速は以前より約20メートル速い140キロ台になっていたといい、今月20日には練習試合にも登板。2回4失点と苦い「デビュー」だったが、「勉強になった」と話した。

ネパールは失業率が高く、プロ野球選手になれなければ海外へ出稼ぎに行くしかないというタパさん。来春のシーズン開幕に合わせて再来日する予定で、「いずれ野球選手として稼げるようになりたい」と夢を膨らませている。